

電子カルテREDCapとセンターREDCapの日本語コードの違い



電子カルテREDCap

Upload

Download

文字コード**UTF-8***1で
やり取りを行います



注1) **UTF-8**は、世界で普及が進んでいる、多言語(日本語、フランス語等)を扱う事が可能な文字コードです



センターREDCap

Upload

Download

文字コード**Shift_JIS***2で
やり取りを行います

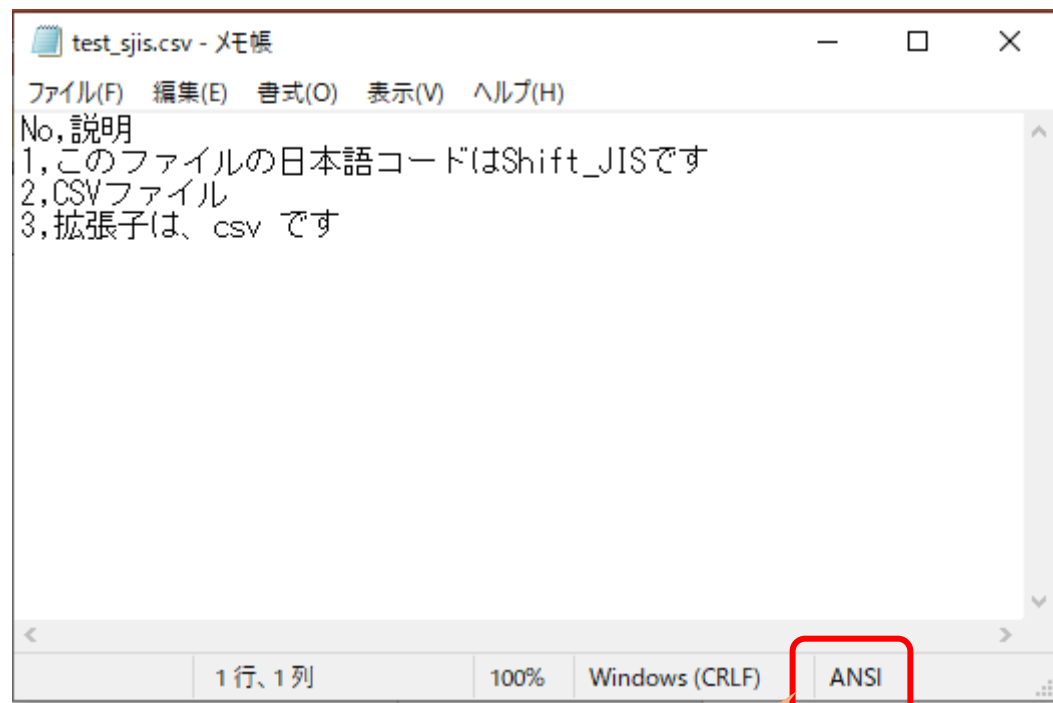


注2) **Shift_JIS**は、主に日本のPC (Windows/Mac) で使用されている文字コードです

日本語コードの違いによる問題が起こるケース

No	現象	原因・対策
01	ダウンロードしたCSVファイルを、Excellで開くと、日本語文字が文字化けしている	対象のファイルが、UTF-8の可能性あります。 Shift_JISに変換する必要があります Excellでは、日本語は、Shift_JISである必要があるため
02	ダウンロードしたファイルを、テキストエディタ*で開くと、日本語文字が文字化けしている 注) Windows10以降のメモ帳では、文字コードの自動判別が行われ、UTF-8/Shift_JISのどちらの日本語コードも、変換することなく読むことができます	テキストエディタの現在の日本語コードと、編集対象の日本語コードが異なる可能性があります テキストエディタの現在の日本語コードを、ファイルの日本語コードに合わせるか、ファイルの日本語コードを、エディタの現在の日本語コードに変換する必要があります
03	修正したCSVファイルをREDCapにUploadして表示すると、日本語が化けてしまう。または、日本語コードが異なる旨、エラーが表示され、Uploadできない	UploadするCSVファイルを、Upload対象のREDCapに応じた日本語コードに変換してから、Uploadする必要があります 例) 電カルREDCapにUploadする場合は、文字コードをUTF-8にする必要があります

ファイルの文字コード判別法（メモ帳の場合）



ANSIと表示されている時は、Shift_JISです

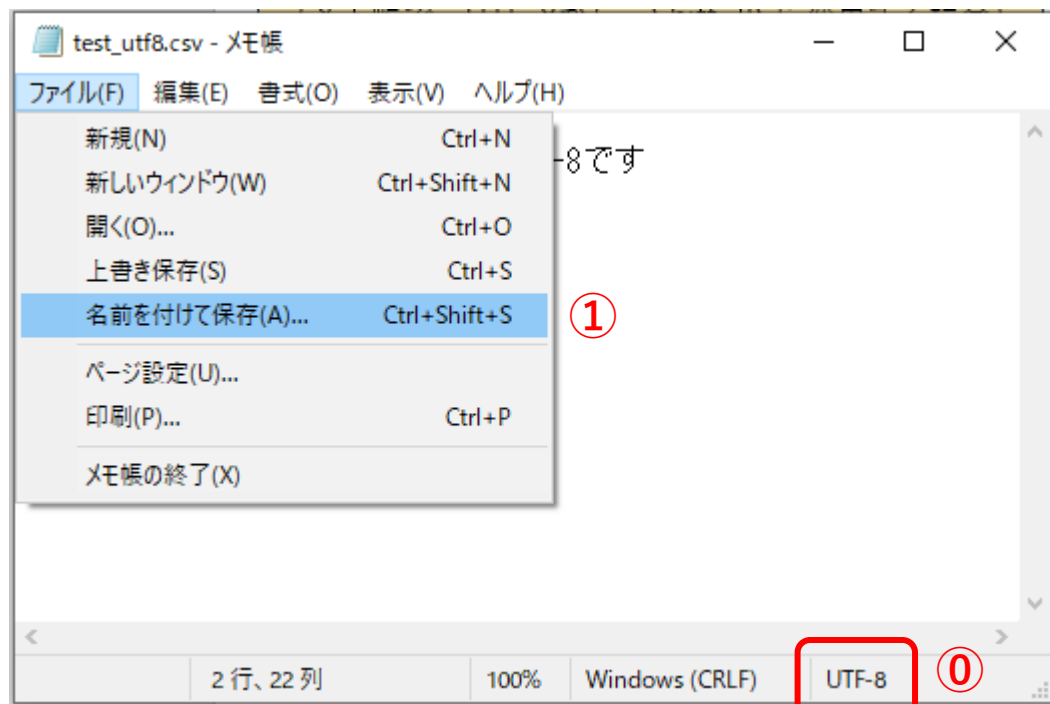


UTF-8と表示されている時は、UTF-8です

Excellで表示

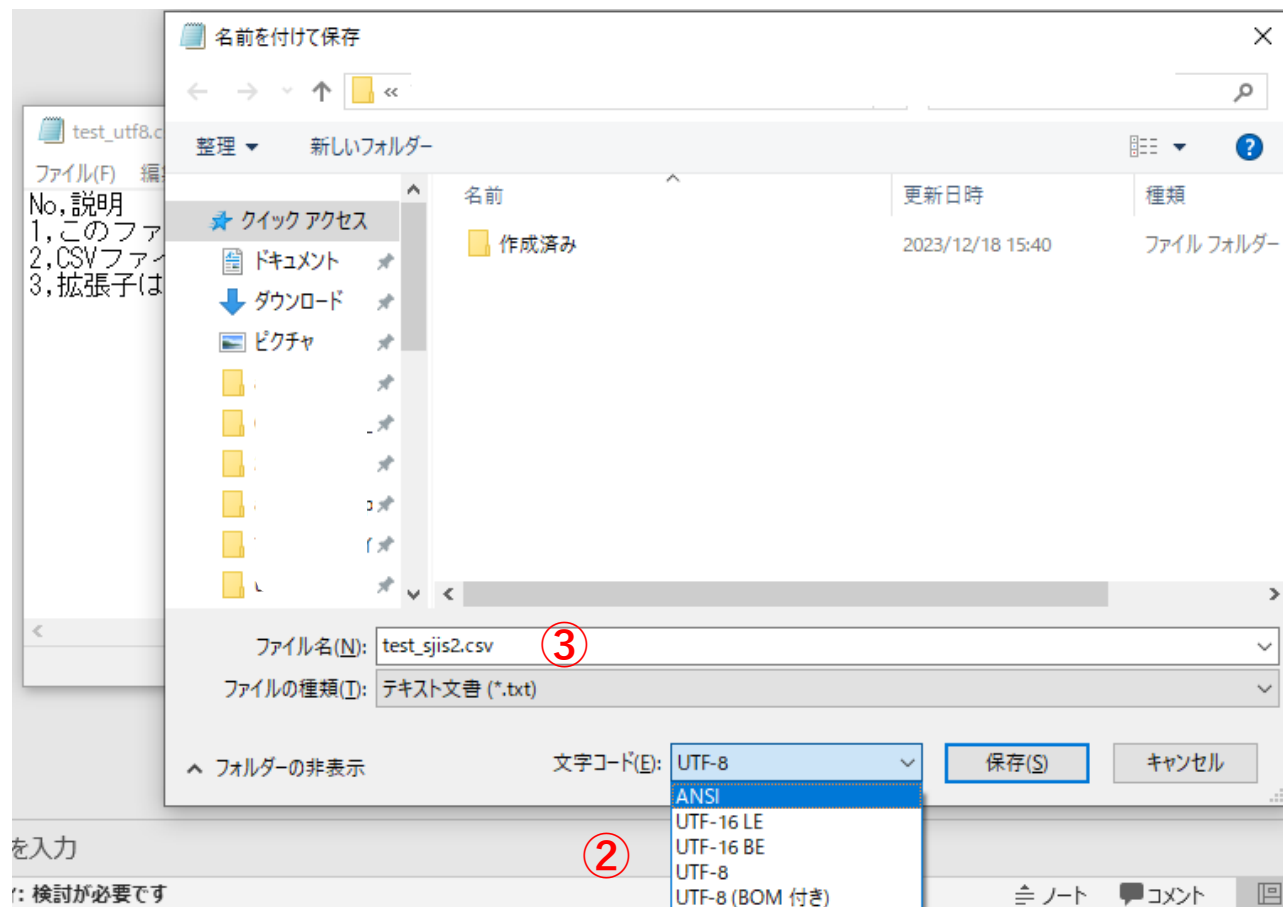
	A	B	C	D	E	F	G
1	No	隠	機				
2		1	雑	・	網	輔	い
3		2	CSV	網	輔	い	網
4		3	語	・	蝶	・	蛭
5							

テキストファイルの文字コード変更法
(メモ帳で、UTF-8から、Shift_JISに変更する場合)



① 現在の文字コードは、UTF-8

① ファイルメニューの「名前を付けて保存」を選択



② 文字コードで、ANSIを選択*

③ ファイル名に、必要に応じて、別名をつけて保存する

注) Shift_JIS->UTF-8 変換時は、UTF-8 を選択